

CHOFU

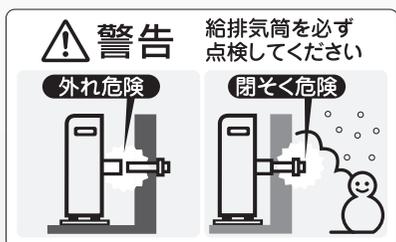
ガスFF暖房機

取扱説明書 (保証書付)

型名

SUNPot FF-3022G

SUNPot FF-3022GP



お客さまご自身による工事は危険です。
据付け工事は販売店や専門業者にご依頼ください。
(ストーブを移設させる場合も同じです。)

このたびは長府製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は大切に保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入されていることを必ず確認してください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

もくじ

ご使用前に	特に注意していただきたいこと…… 2～11 使用する場所…… 12 機能と特徴…… 13 各部のなまえ…… 14～16 <ul style="list-style-type: none">●外観図…… 14●表示部・操作部…… 15～16
準備	使用前の準備…… 17～18 <ul style="list-style-type: none">●点火前の準備と確認…… 17～18
使用方法	使用方法…… 19～29 <ul style="list-style-type: none">●点火…… 19●自動運転…… 20●手動運転…… 21●消火…… 22●時刻合せ…… 23●タイマー運転…… 24～26●eco(エコ)運転…… 27～28●チャイルドロック…… 29 安全装置…… 30
点検・その他	日常の点検・手入れ…… 31～32 定期点検…… 33 故障・異常の見分け方と処置方法…… 34～36 保管…… 37 仕様…… 38 アフターサービス…… 39 据付け…… 40～41 試運転…… 42～43
保証書	保証書…… 巻末

特に注意していただきたいこと

安全のために必ずお守りください

この取扱説明書には本機を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項が表示されています。

表示内容をよくご理解いただき、本文をお読みください。

●ここに示した事項は △危険、△警告、△注意に区分しています。

 危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●本文中のマークは次のような意味があります。

 一般的な禁止	 分解禁止	 火気禁止	 ぬれ手禁止
 必ず行う	 プラグを抜く		
 一般的な 危険・警告・注意			

特に注意していただきたいこと つづき

⚠ 危険 (DANGER)

ガス漏れ時使用厳禁

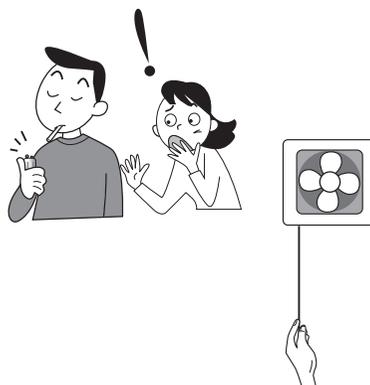
●ガス漏れに気付いたときはガス事業者(供給業者)の処置が終わるまでの間、絶対に火を着けたり電気器具(換気扇その他)のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しないでください。炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



火気禁止



禁止



ガス栓を閉じる



①すぐに使用をやめ、ガス栓とメーターのガス栓を閉じる。



必ず行う

②窓や戸を開けガスを外へ出す。



必ず行う



③外に出て最寄りのガス事業者(供給業者)に連絡をしてください。



必ず行う



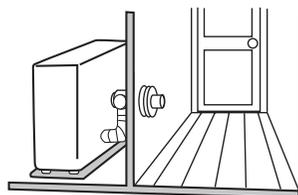
ガス事業者

室内給排気厳禁

●室内に排気すると燃焼排ガスが室内に充満して異常燃焼し、一酸化炭素中毒の原因になり危険です。
必ず屋外に排気してください。



禁止



安全のために必ずお守りください

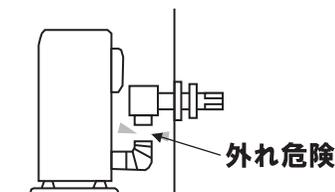
⚠ 警告 (WARNING)

給排気筒(管・ホース)外れ危険

- 給排気筒(管・ホース)が外れたまま使用しないでください。
外れていると運転中に燃焼排ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因になります。



禁止

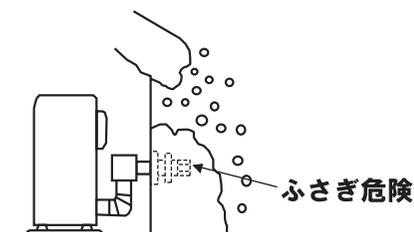


給排気筒トップ閉そく危険

- 給排気筒トップの周りがふさがれた状態で使用しないでください。
雪でふさがれているときは、除雪してください。
ふさがれていると運転中に燃焼排ガスが室内に漏れて一酸化炭素中毒の原因になります。



禁止



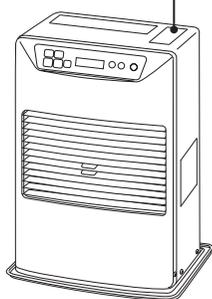
指定のガス種(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)以外使用厳禁

- 機器の銘板に表示しているガス種(ガスグループ)および電源以外を使用しますと、不完全燃焼により一酸化炭素中毒になったり、異常点火や機器の故障の原因になります。
- 転居された場合にもガス種(ガスグループ)および電源が一致していることを必ず確認してください。
- わからない場合はお買い求めの販売店、または最寄りのガス事業者(供給業者)に連絡してください。



必ず行う

この機器の銘板は本体上面に貼ってあります



例：銘板(12A・13A用)

製品名 : [FF-0000]	製品名
形式の呼び : [FF-0000]	形式の呼び
外壁用(FF-W)	
[都市ガス用 12A・13A]	ガスの種類
12A 0.00kW 13A 0.00kW	電源(電圧)
定格電圧 : AC100V	電源(周波数)
定格周波数 : 50/60Hz	
定格消費電力 : 00/00W	
製造 [000000-000000]	製造番号
[2022.4]	製造年月
株式会社 長府製作所	2022年4月 生産の場合
エネルギー消費効率 : 00.0%	

機器の設置工事・移設工事はお買い求めの販売店に依頼してください

- 機器の設置工事や移設工事は必ずお買い求めの販売店または最寄りのガス事業者(供給業者)に依頼し、安全な位置に正しく設置してください。
ご自分で設置・移設工事をされ不備があると火災、一酸化炭素中毒、ガス漏れの原因になります。



必ず行う

特に注意していただきたいこと つづき

⚠ 警告 (WARNING)

ガス接続は専門業者に依頼してください (ガス管は規定の強化ガスホースか金属管接続が必要です)

- この機器はねじ接続です。ガス管接続工事には専門の資格、技術が必要です。必ずお買い求めの販売店または最寄りのガス事業者(供給業者)に依頼してください。正しく接続しないとガス漏れ、一酸化炭素中毒、火災の原因になります。



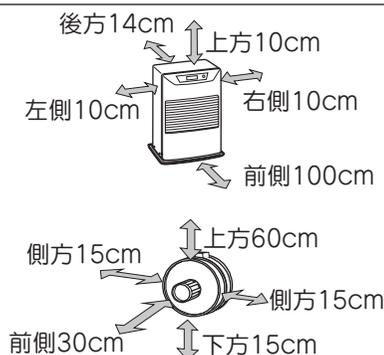
必ず行う

離隔距離の厳守

- 機器の上や周囲に燃えやすいものを置くと火災の原因になります。
- 給排気筒トップ周辺の障害物(壁など)と十分な離隔距離をとってください。不完全燃焼の原因になります。
- 可燃物との離隔距離は、標準据付け例(40~41ページ)で確認してください。



必ず行う

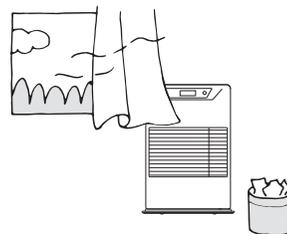


カーテン・可燃物近接禁止

- カーテンや燃えやすいものを近づけないでください。機器の過熱や火災の原因になります。



禁止

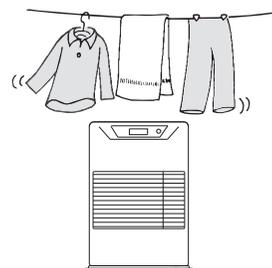


衣類の乾燥など暖房以外での使用禁止

- 衣類の乾燥など暖房以外の用途に使用しないでください。火災の原因になります。



禁止



引火のおそれのあるもの使用禁止

- スプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを近くで使用している際は機器を使用しないでください。引火、爆発の原因になります。



禁止



安全のために必ずお守りください

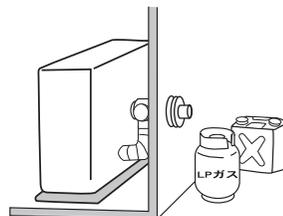
⚠ 警告 (WARNING)

給排気筒付近の可燃物近接禁止

- 給排気筒トップの近くに、灯油や可燃物など引火のおそれのあるものを置かないでください。火災のおそれがあります。



禁止

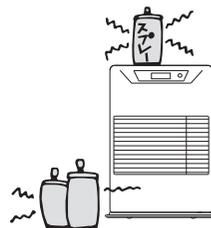


スプレー缶厳禁

- スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを、機器の上や前に(周囲に)放置しないでください。熱で缶の圧力が上がり、爆発するおそれがあります。



禁止



温風を長時間直接体にあてない

- 体調悪化や健康障害の原因になります。



禁止

低温やけどに注意

- 温風の直接あたる場所で就寝しないでください。低温風でも連続的にあると低温やけどの原因になります。特に乳幼児・お年寄り・お体の不自由な方などがお使いのときは、周りの方が注意してください。



禁止



温風に注意

- 温風を長時間直接体に当てないでください。体調不良や健康障害の原因となります。



禁止

温風吹出し口・空気吸込口をふさがない

- 衣類・紙などで温風吹出し口や機器背面部の空気吸込口(フィルタ部)をふさがないでください。火災の原因になります。



禁止



運転したままの外出・就寝は絶対しない

- 運転したまま外出しますと、予想しない事故の原因になります。
- 就寝されるときは、タイマー運転以外は使用しないでください。



禁止

特に注意していただきたいこと つづき

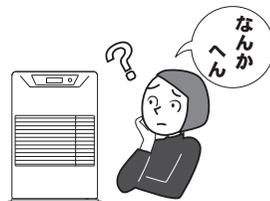
⚠ 警告 (WARNING)

異常時使用禁止

- 点火しない場合、使用中に異常な燃焼・臭気・異常音・異常な温度を感じた場合、または使用途中で消火する場合はただちに使用を中止し、ガス栓を閉めてください。異常のまま使用を続けると、爆発や火災の原因になります。
- 異常を感じた場合は「故障・異常の見分け方と処置方法」(34~36ページ)を参照してください。
- 上記の処置をしてもなおらない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。



禁止



ガス栓を閉じる



必ず行う



地震・火災など緊急時使用禁止

- 地震・火災などの緊急の場合は、ただちに使用を中止し、ガス栓を閉めてください。



禁止

運転スイッチを切る



ガス栓を閉じる



必ず行う



改造・分解禁止

- 修理・改造には高度な専門知識が必要です。お客様ご自身で、工具を使用しての分解や修理・改造は、絶対に行わないでください。一酸化炭素中毒や火災、機器の故障の原因になります。



分解禁止



電源コードを直接引っ張らない

- 電源プラグを抜くときに電源コードを直接引っ張らないでください。断線などで発熱・発火の原因になります。



禁止



外付け装置による遠隔操作厳禁

- スマートフォン、IT機器を使ってストーブのスイッチを操作する外付け装置(※)は安全性を確認できないため、使用しないでください。 ※操作ボタン付近に設置し、インターネット通信等を介して、操作ボタンを切り切りできる装置。



禁止



安全のために必ずお守りください

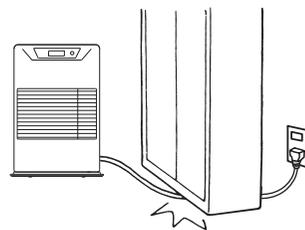
⚠ 警告 (WARNING)

電源コードへのもの載せや切断禁止

- 電源コードに無理な力を加えたり、重いものを載せたり、引っ張ったりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを切断して延長しないでください。火災や感電の原因になります。



禁止

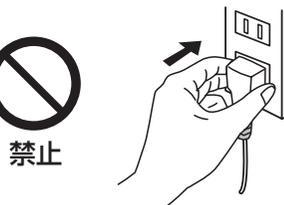


電源プラグは確実に差し込む

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。火災や感電の原因になります。



必ず行う

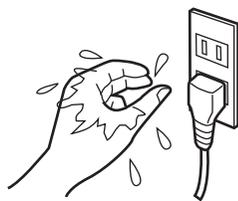


ぬれた手で抜き差しをしない

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。感電の原因になります。



ぬれ手禁止



電源プラグによる消火禁止

- 電源プラグを抜いて運転を停止しますと、故障や予想しない事故の原因になります。



禁止

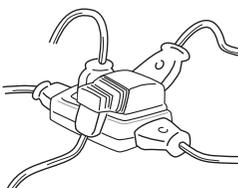


許容電力以上の使用禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方やAC100V以外では使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



禁止

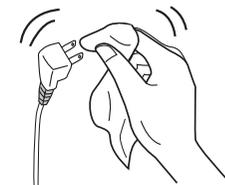


電源プラグのお手入れをする

- 定期的に電源プラグを抜き、ほこりなどを除去してください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。



必ず行う



給排気部の点検をする

- いたずら等により給排気筒トップがつぶれたり、ふさがれていると燃焼排ガスが室内に漏れ、一酸化炭素中毒の原因になります。また、外壁の塗装や増改築、修繕時など養生シートで給排気筒トップがおおわれた場合も同様です。



必ず行う

特に注意していただきたいこと つづき

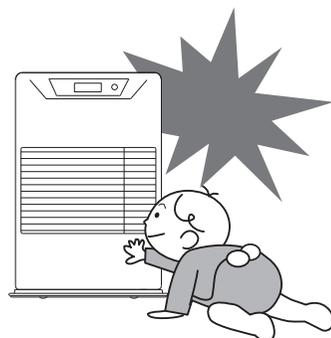
⚠ 注意 (CAUTION)

高温部に注意

- 燃焼中や消火直後は、温風吹出し口やエアークレフィルタ部、排気管などは高温になっておりますので、操作部以外には手などを触れないでください。
- 燃焼中や消火直後は、給排気筒トップは高温になっておりますので手などを触れないでください。やけどのおそれがあります。



禁止



指や異物を入れない

- 温風吹出し口や空気吸込口に指や異物を入れないでください。内部で回っている対流ファンによるケガや火災のおそれがあります。



禁止



腰をかけたりものを載せない

- 機器の上ののったり、腰をかけたりしないでください。機器の故障ややけどのおそれがあります。
- 機器の上に花瓶や水を入れたものを置かないでください。水がかかると漏電や故障のおそれがあります。



禁止

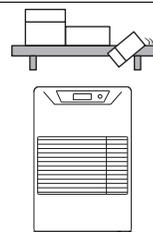


棚の下などで使用しない

- 棚の下など落下物の危険がある所では使用しないでください。機器の破損や落下物によっては火災の原因になります。



禁止

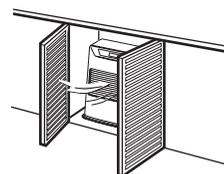


温風吹出し口の前にギャラリ(格子)を取り付けない

- 火災の原因となります。



禁止



小さなお子様がいたずらしないように注意してください

- 予想しない事故につながるおそれがあります。



禁止

安全のために必ずお守りください

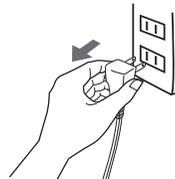
⚠ 注意 (CAUTION)

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
火災や予想しない事故の原因になります。



プラグを抜く



給排気筒トップにホースなどで水をかけない

- 機器内に水が入ると感電・故障の原因になります。



禁止

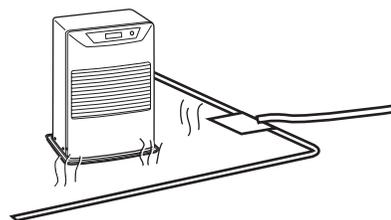


温水マットなどの上に設置しない

- 温水マットや電気カーペットの上に設置しないでください。機器の重みで温水マットや電気カーペットが故障する原因になります。また、温水マットや電気カーペットの熱で機器が正しく制御しないことがあります。



禁止

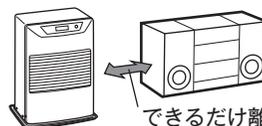


ラジオなどから離す

- ラジオ・ステレオなどを近くで使用する場合は、雑音が入る事があるので、離して使用してください。



必ず行う



できるだけ離して使用

エアフィルタを外しての運転禁止

- エアフィルタを外して運転しないでください。機器内部にほこりが詰まり故障の原因になります。



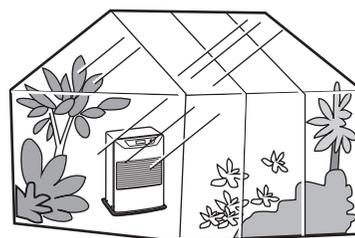
禁止

特殊な場所での使用禁止

- 機器は家庭の居室の暖房用につくられたものです。クリーニング店、美容院など化学薬品を使用する場所で使用しないでください。化学薬品などの影響により異常燃焼や故障の原因になります。この場合の修理は、保証期間内でも有料となります。
- 乾燥室・温室・飼育室などでは絶対に使用しないでください。植物が枯れたり、動物が死亡する場合があります。



禁止



特に注意していただきたいこと つづき

⚠ 注意 (CAUTION)

高地注意

- 標高1000m未満でご使用ください。
標高1000～1500mで使用する場合は調整が必要です。
お買い求めの販売店にご相談ください。
そのまま使用しますと、空気不足になり、異常燃焼の原因になります。



注意

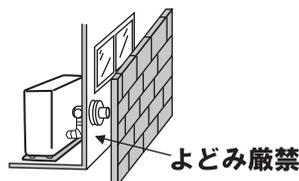


燃焼排ガスがよどむ場所に設置しない

- 燃焼排ガスが自家、隣家に入りやすい場所やよどむ場所には設置しないでください。
不完全燃焼の原因になります。



禁止



機器を廃棄する場合

- 機器を取り換えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。



必ず行う

お願い (NOTICE)

- この製品は家庭用です。
業務用のような使い方をすると機器の寿命が著しく短くなります。

- 使用時は点火、消火を確かめてください。

- 雷が接近したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
雷による一時的な過電流で電子部品が損傷する場合があります。
- 使用中に電源プラグを抜きますと機器が過熱して故障の原因になる場合がありますので、雷が近づく前に運転を停止して、対流ファンが止まってから抜いてください。



プラグを抜く



- 停電したときや、使用中に誤って電源プラグを抜いて機器が停止したときは、エアフィルター部や機器の上面などが高温になっておりますので、手を触れないでください。

使用する場所

機器を安全に使用するためには、場所の選定が大切です。
場所の選定は「据付場所の選定および標準据付け例」の項をお読みください。
(40～41ページ参照)

効果的に使用するため

- 冷たい外気に接する窓ぎわや壁側に据え付けると、冷気が暖められて対流しますので効果的です。
- 機器の前方に障害物があると、部屋の温度にむらができる原因になります。

次の場所では使用しないでください。火災や予想しない事故の原因になります。

- 水平でない場所、不安定な場所
- 不安定なものを載せた棚などの下
- 可燃性ガスの発生する場所またはたまる場所
- 付近に燃えやすいものがある場所
- 階段、避難口などの付近で避難の支障となる場所
- 温室、飼育室など人のいない場所
- 水のかかりやすい場所
- 愛がん動物や植物などに燃焼排ガスが直接あたる場所

機能と特徴

■FFタイプ

燃焼に必要な空気を室外から取り入れ、燃焼後の燃焼排ガスを室外へ出す方式(FF式)です。からクリーンな暖房です。

■簡単操作

点火・消火は、運転スイッチを押すだけのワンタッチ操作です。
(19～22ページ参照)

■自動運転機能

お好みの室温に設定すると火力を自動的に調節してお部屋を暖めます。
※お部屋の温度が設定室温に達しても消火しません。
(20ページ参照)

■手動運転機能

手動運転に設定すると、火力を自動的に調節せず、「Lo」「P1」「P2」「P3」「P4」「Hi」の6段階の火力が調整可能です。
(21ページ参照)

■eco(エコ)運転(自動運転時のみ)

eco(エコ)運転を設定すると、現在室温が設定室温と同じ、またはそれ以上の状態が1分間続くと自動的に消火し、現在室温が設定室温より2℃低くなると自動的に点火します。お部屋の暖めすぎをおさえます。
(27ページ参照)

■eco(エコ)運転の温度条件調節

eco(エコ)運転時の消火・点火の温度条件を調節することができます。
(28ページ参照)

■受付音調整機能

ボタン受付音の「ピッ」音を消すことができます。
(15ページ参照)

■タイマー1運転機能

希望の時刻に運転を開始します。24時間デジタル表示で設定できます。
(24～26ページ参照)

■タイマー2運転機能

希望の時刻に運転を開始し、1時間後に自動で消火します。24時間デジタル表示で設定できます。
※自動消火機能をOFFにすることができます。
(24～26ページ参照)

■チャイルドロック機能

小さなお子様などによるいたずら操作の防止や、誤って運転スイッチを押しても点火しないように、操作部をロックすることができます。
(29ページ参照)

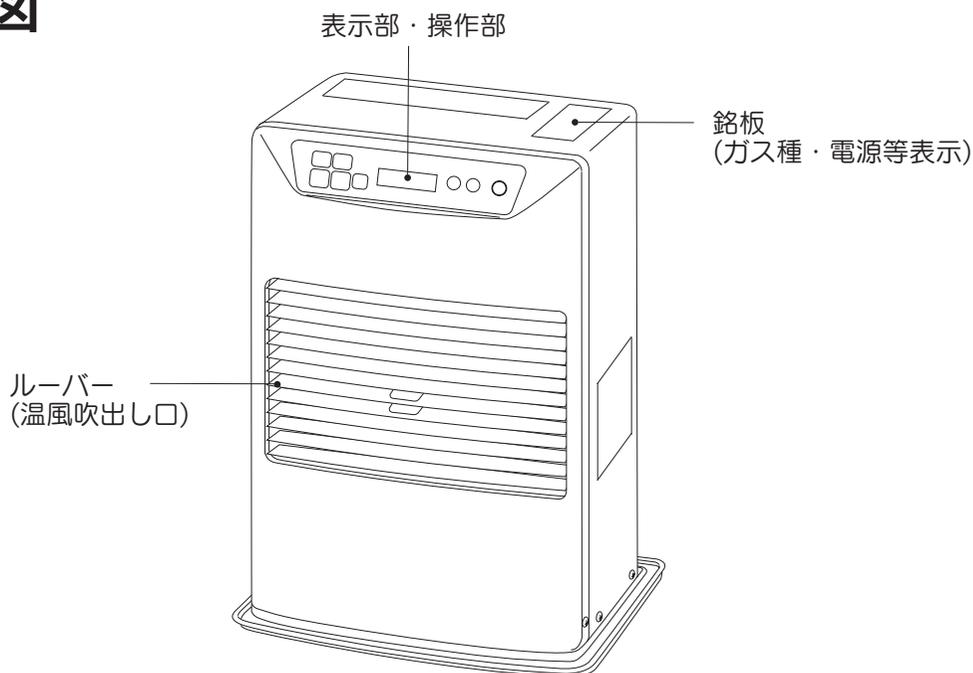
■バックライト(照明)調整機能

運転スイッチを「入」にしている間、バックライト(照明)を消灯することができます。
(28ページ参照)

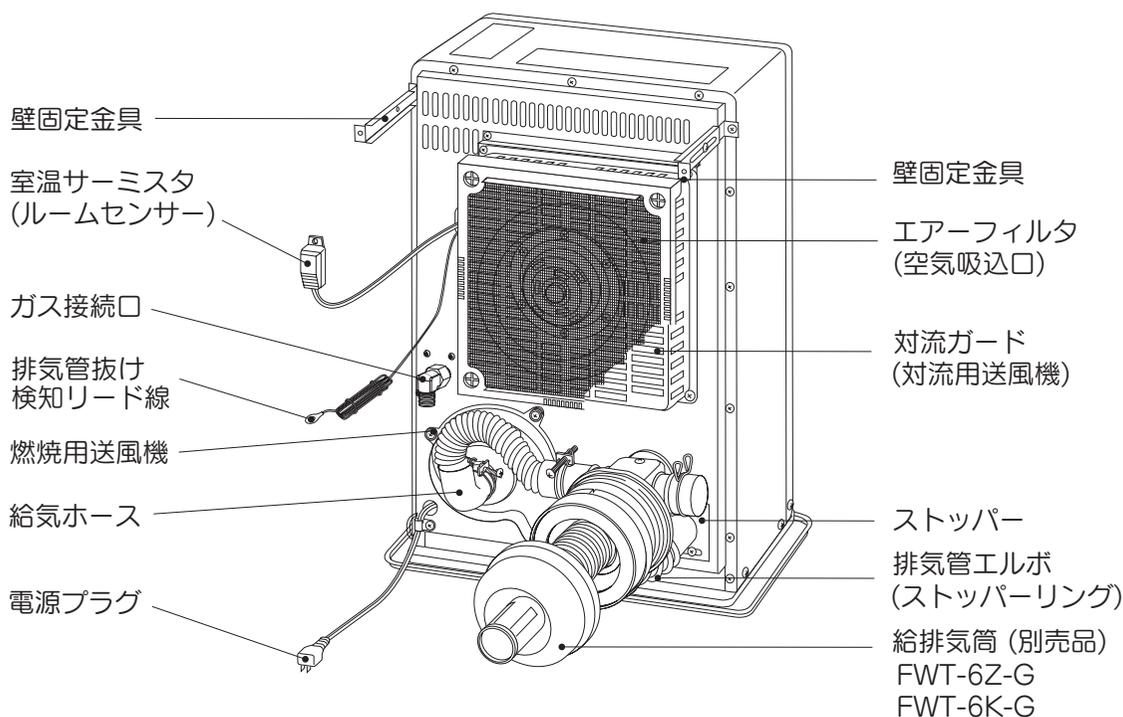
各部のなまえ

■外観図

【正面】



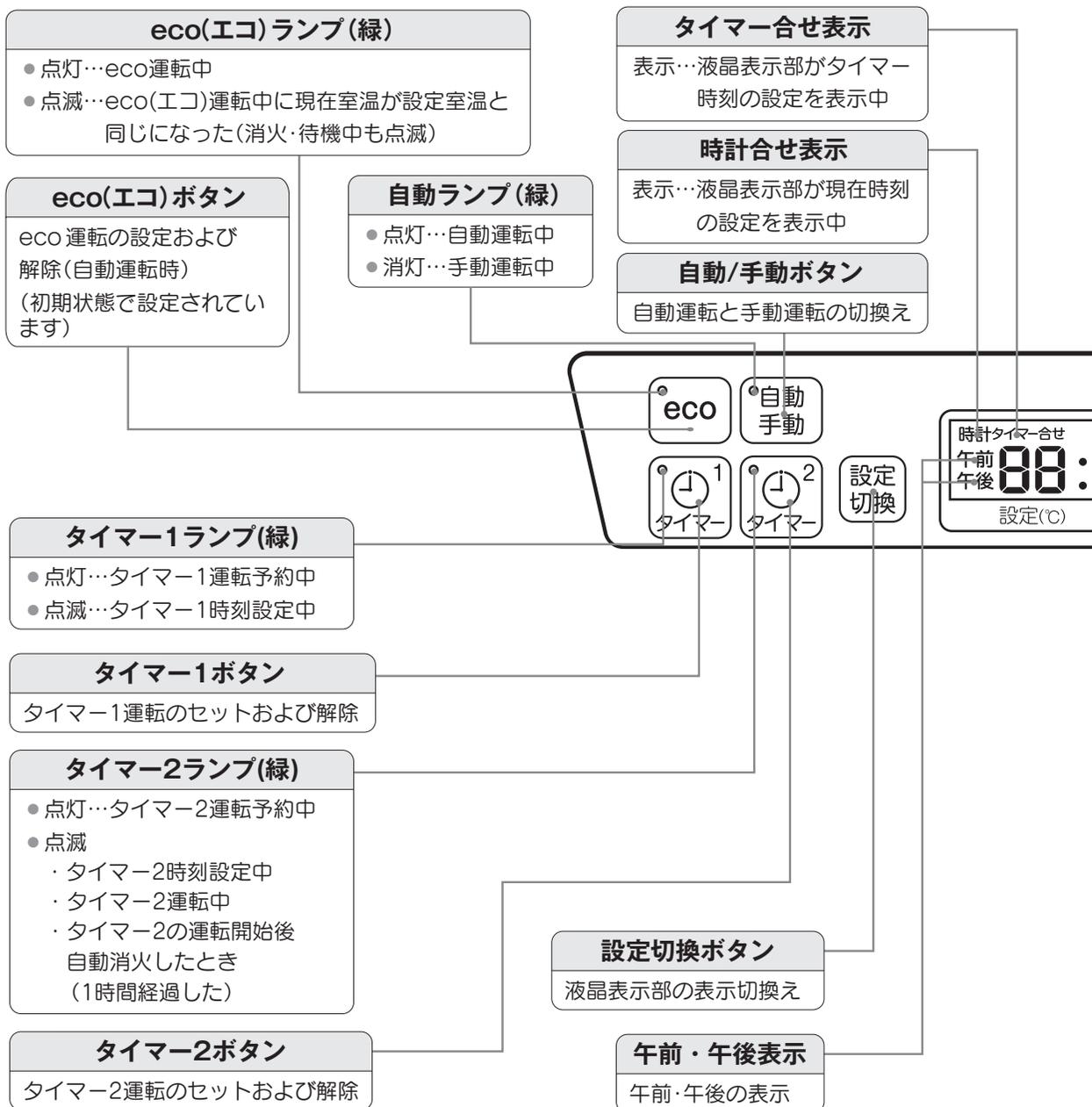
【背面】



各部のなまえ つづき

■表示部・操作部

- 操作ボタンを押すと受付音(「ピッ」音)を発生して、受け付けたことをお知らせします。(受付音を消す場合は、設定切換ボタンを10秒以上押ししてください。「ピピピ」音を発生して設定されます。もう一度操作すると「ピピピ」音を発生して受付音が発するように設定されます。受付音を消音設定した場合でも、チェックモードが発生したときはブザー音が鳴ります。)

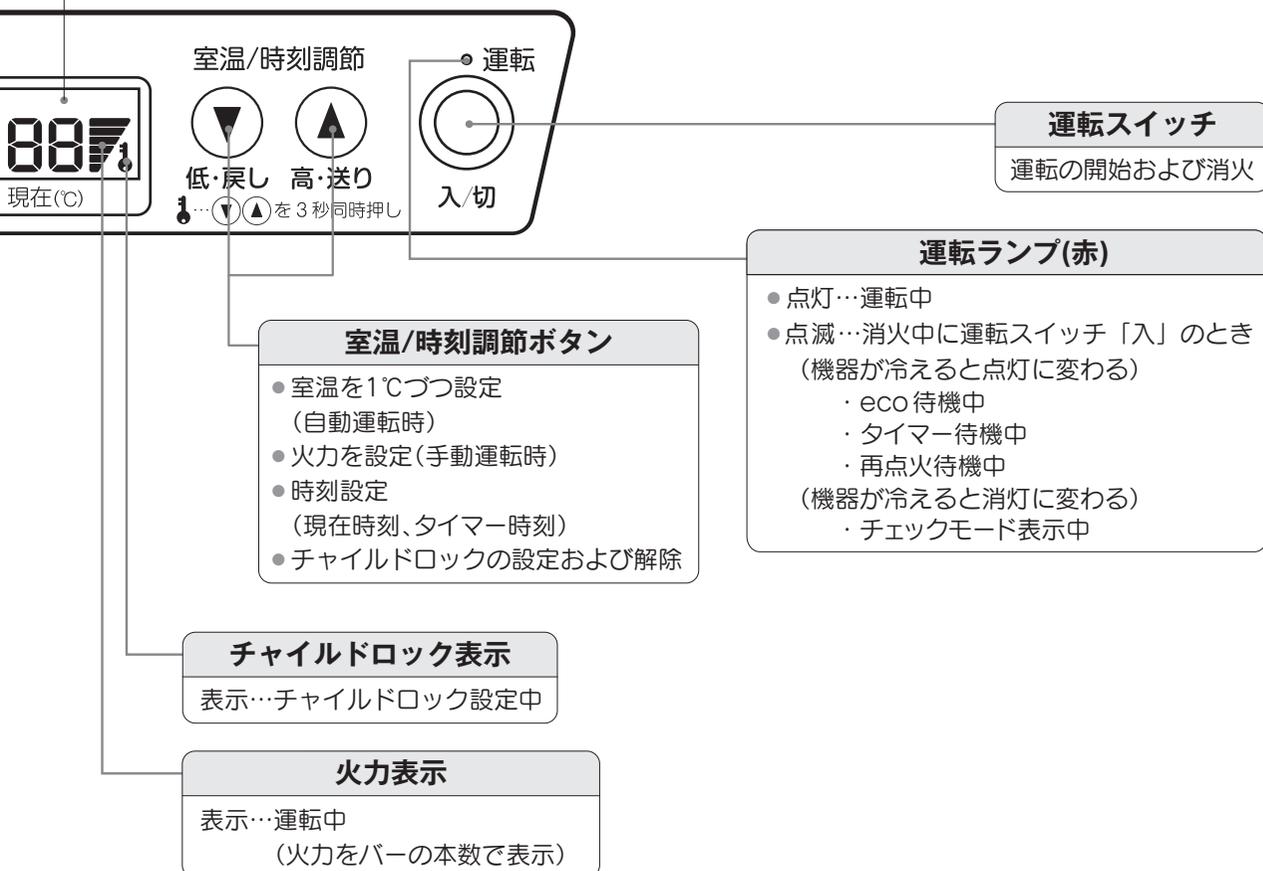
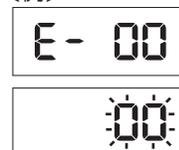


- 操作できないボタンを押すと「ピピッ」音を発して、受け付けないことをお知らせします。
- バックライトが消灯しているときに操作ボタンを押すと、バックライトが一定時間点灯します。
- 運転スイッチを「入」にすると、表示部に白色のバックライト(照明)が点灯します。
- 設定により運転中のバックライトを消すことができます。(28ページ参照)

液晶表示部

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 初期表示 --:-- の点滅(運転スイッチ「切」の場合) <ul style="list-style-type: none"> ・電源プラグをコンセントに差し込んだとき ・停電後、再通電したとき ・時刻設定していないとき ● 運転スイッチ「入」時 <ul style="list-style-type: none"> ・自動運転…設定室温、現在室温を表示 ・手動運転…火力を「Lo」「P1」…「P4」「Hi」で表示
現在室温を表示 | <ul style="list-style-type: none"> ● 運転スイッチ「切」時…時計表示 ● 「時計合せ」「タイマー合せ」表示…設定時刻を表示 ● チェックモード表示 ● タイマー2の運転開始後自動消火した表示 ● 何も表示しないとき <ul style="list-style-type: none"> ・停電中 ・省電力表示中 |
|--|---|

〔例〕



使用前の準備

お使いになられるときは必ず2～11ページの「特に注意していただきたいこと」をお読みのうえ、安全な状態でご使用ください。

■ 点火前の準備と確認

1 ガス種・電源の確認

- ガス種・電源(電圧・周波数)は機器上面の銘板に表示してあります。

例：銘板(12A・13A用)

製品名：FF-〇〇〇〇	製品名
形式の呼び：FF-〇〇〇〇	形式の呼び
外壁用(FF-W)	
都市ガス用 12A・13A	ガスの種類
12A 〇.〇〇kW 13A 〇.〇〇kW	電源(電圧)
定格電圧：AC100V	電源(周波数)
定格周波数：50/60Hz	
定格消費電力：〇〇/〇〇W	
製造 〇〇〇〇〇〇-〇〇〇〇〇〇〇〇	製造番号
2022.4	製造年月
株式会社 長府製作所	
エネルギー消費効率：〇〇.〇%	

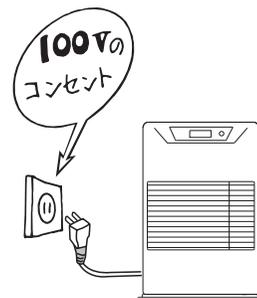
2022年4月生産の場合

⚠ 警告

- 機器に表示してあるガスと使用するガスの種類が合っているか確認してください。
- 電源(電圧・周波数)がAC100V(50/60Hz)であることを確認してください。

2 電源コードおよび電源プラグの確認

- 電源プラグをコンセントに差し込み接続してください。

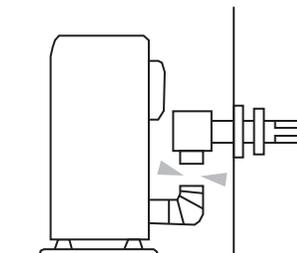


⚠ 注意

- 電源コードの引き回し部分が放熱(排気管の放熱など)を受けない所にあるか確認してください。

3 給気ホース(給気管)・排気管の接続の確認

- 給気ホース(給気管)・排気管が正しく接続されているか確認してください。

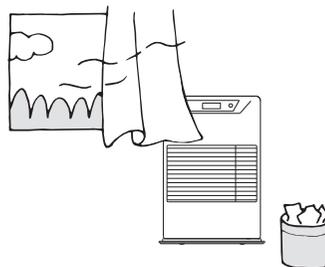


⚠ 警告

- 外れていると運転中に燃焼排ガスが室内に漏れて、大変危険です。

4 機器の周囲の確認

- 機器の周辺および給排気筒トップの周囲に引火物や可燃物がないか確認してください。



⚠ 警告

- スプレー缶やガソリンなど引火物や可燃物があると火災や予想しない事故が発生するおそれがあります。

5 ガス栓を全開にする

- 機器と接続されているガス栓を全開にしてください。

ガス栓を開く



使用方法



省電力表示

運転スイッチが「切」で機器が停止中ボタンを押さない状態が2分間続くと省電力表示になり表示部の表示が全て消えます。

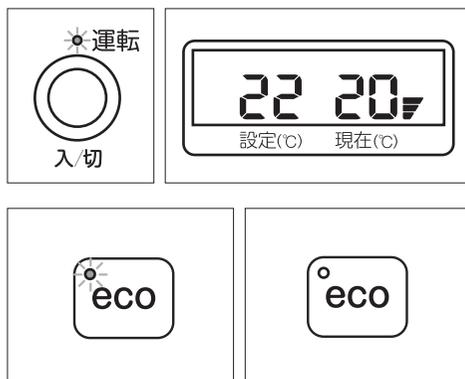
この状態から操作する場合はいずれかのボタンを一度押し、表示部を点灯させたのち、各操作を行ってください。

(省電力表示機能の解除方法は28ページ参照)

点火

1 運転スイッチを押し「入」にする

- 運転ランプが赤色に点灯し、表示部に設定室温・現在室温が表示され、約20秒後にスパーク音がし、点火します。
- 点火してから約40秒後に温風が出ます。
- 初期状態では設定室温が「22」℃でeco (エコ) 運転が設定されています。eco (エコ) 運転を使用しない場合、eco ボタンを押してeco (エコ) 運転を解除してください。(eco (エコ) 運転については27~28ページ参照)
- 消火後、対流ファンが回っているときに再点火する場合、約1分間運転ランプが点滅し、その後運転ランプが点灯し、再点火します。



- 初めてご使用になるときや、しばらく使わなかったときには配管内に空気があるため1回の操作で点火しない場合があります。
- スパーク音がして1回で点火しなかった場合は、その後2回点火動作を行いますが、それでも点火しないときには、デジタル表示部に「E-1」のチェックモードを表示して自動的に運転を停止します。そのようなときは、運転スイッチをいったん「切」にし、機器が停止したのを確認のうえ、ガス栓が開いているのを確認し運転スイッチを「入」にしてください。(「E-1」処置方法については30,35ページ参照)
- 運転スイッチを押して「入」にし、「E-90」のチェックモードが表示された場合は、排気管の接続が不十分であったり、排気管抜け検知リード線が正しく接続されていないためです。そのようなときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。



■自動運転

●設定した室温になるように、火力を自動調節します。

1 室温/時刻調節ボタンの「▲」「▼」ボタンを押し、お好みの室温を設定する

※自動ランプが消灯している場合、自動/手動ボタンを押して、自動ランプを点灯させ自動運転にしてください。

- 「▲」または「▼」ボタンを押すと1℃づつ変わり、押し続けると連続して変わります。
- 室温の設定範囲は「12～30」℃です。
- 現在室温は「5～35」℃の範囲で表示されます。ただし、現在室温が5℃未満で「Lo」、36℃以上で「Hi」が表示されます。
- 火力に合わせて火力表示(バー表示)も変化します。
- 現在室温の数字は室温のめやすです。設置条件(部屋の構造・設置場所・室外温度など)によっては必ずしも室温と一致しません。
- 自動的に消火は行わないため、比較的暖かい時期や設置条件によっては最小燃焼になってもお部屋の温度が上がっていきことがあります。この場合はeco(エコ)運転をご使用ください。
(eco(エコ)運転については27～28ページ参照)
- 設定室温の初期設定値は「22」℃に設定されています。設定室温は一度設定すれば記憶されますので、運転スイッチ「切」にして消火したり手動運転に切替えても記憶してはいますが、停電の場合は解除され自動的に「22」℃に設定されます。



- 室温サーミスタ(ルームセンサー)は、部屋の温度を代表できる位置に取り付けてください。直接機器に取り付けたり、機器の熱を受けやすい場所または直接日光や冷気があたるような位置に取り付けると室温調節が正しく動きません。

使用方法 つづき



1

■手動運転

●設定した火力で運転を続けます。室温による火力調節はしません。

1 室温/時刻調節ボタンの「▲」「▼」ボタンを押し、お好みの火力を設定する。

※自動ランプが点灯している場合、自動/手動ボタンを押して、自動ランプを消灯させ手動運転にしてください。

- 「▲」または「▼」ボタンを押して、お好みの火力を設定してください。
- 火力は「Lo」が最小、「P1」～「P2」が小、「P3」～「P4」が中、「Hi」が最大というめやすです。
- 設定した火力(記号)に合わせて火力表示(バー表示)も変化します。
- 出荷時の火力は「P3」に設定してあります。
- 火力は一度設定すれば記憶されますので、運転スイッチ「切」にして消火したり自動運転に切替えても記憶していますが、停電の場合は解除され自動的に自動運転の「22」℃に設定されます。



- 手動運転にすると、eco(エコ)運転はできません。設定されていたeco(エコ)運転は解除されます。(eco(エコ)運転については27～28ページ参照)



■消火

1 運転スイッチを再度押し「切」にする

- 運転ランプが消灯し、10秒後にバックライトが消灯します。
- 液晶表示部が温度・火力表示から現在時刻表示に切り換ります。液晶表示部が **--:--** になっている場合には、時刻合せを行ってください。(23 ページ参照)



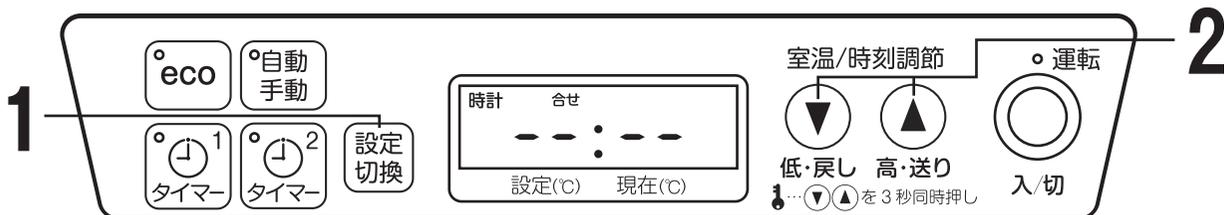
2 消火を確認する

- 対流ファンは機器が冷えるまでの数分間回り続けます。



- 長期間留守にするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグは対流ファンが停止してから抜いてください。
- 運転中、電源プラグをコンセントから抜いて運転を停止しないでください。機器が過熱するなど、故障の原因になります。
- お出かけになるときは、必ず運転スイッチを「切」にして消火してください。

使用方法 つづき



時刻合せ

- 初めて使用するときや停電後、表示が **---:---** になっている場合には、時刻合せを行ってください。
- 停止中でも運転中でも合せることができます。

1 設定切換ボタンを押し、表示部に「時計合せ」を表示させる



2 室温/時刻調節ボタンの「▲」「▼」を押し、現在時刻を合わせる

- 「▲」ボタンを押すと時刻が順に進み、「▼」を押すと逆に進みます。
- ボタンを押し続けると早送りになります。
- 設定中は「時計合せ」表示が点滅します。
- 10秒間操作がないと表示されている時刻が設定されます。（「時計合せ」が消灯し、現在時刻表示になります。運転中の場合は、設定室温または火力と現在室温が表示されます。）





■タイマー運転 タイマー時刻合せ

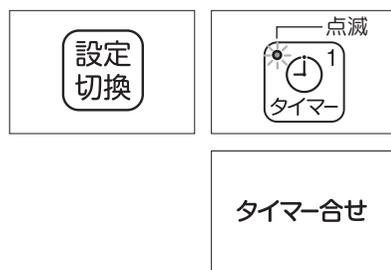
- タイマー1、タイマー2は違う時刻を設定できます。
- 停止中でも運転中でも合せることができます。

■タイマー1

- 寒い朝などおめざめ前にお好みの時刻に運転を開始します。

1 設定切換ボタンを押して、タイマー1ランプを点滅させる

- 液晶表示部がタイマー1合せ表示に切り替わります。
- 液晶表示部に「タイマー合せ」が表示します。



2 室温/時刻調節ボタンの「▲」「▼」ボタンを押す

- 「▲」ボタンを押すと時刻が順に進み、「▼」を押すと逆に進みます。
- 分は5分刻みで動きます。
- ボタンを押し続けると早送りになります。
- 設定中は「タイマー合せ」表示が点滅します。
- 10秒間操作がない则表示されている時刻で設定されます。(「タイマー合せ」が消灯し、現在時刻表示になります。運転中の場合は、設定室温または火力と現在室温が表示されます。)

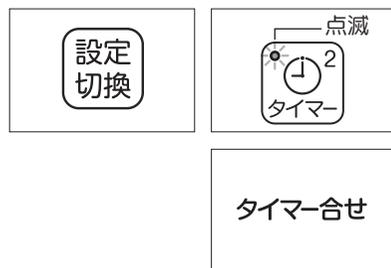


■タイマー2

- 来客時など任意の時刻に運転を開始します。1時間後に消火する設定となっています。

1 設定切換ボタンを押して、タイマー2ランプを点滅させる

- 液晶表示部がタイマー2合せ表示に切り替わります。
- 液晶表示部に「タイマー合せ」が表示します。
- タイマー1と同様にタイマー2時刻を設定してください。



- 時刻合せをしていないと、設定切換ボタンを押してもタイマー時刻合せにできません。

使用方法 つづき



■タイマー運転 タイマー運転の設定

1 運転スイッチを押し「入」にする

- 運転ランプが点灯します。
- 運転中に設定する場合、運転スイッチを「入」にする必要はありません。



2 タイマー1ボタンまたはタイマー2ボタンを押す

タイマー1 タイマー時刻になると点火し、点火後は運転を継続します。

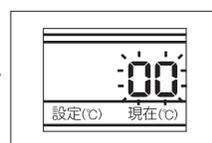
- タイマー1ボタンを押すと、タイマー1ランプが点灯します。
- 10秒間液晶表示部に「タイマー合せ」とタイマー時刻を表示し、その後、バックライト（照明）が消灯します。（燃烧中にセットする場合運転ランプが点滅し消火します。その後バックライトが消灯し、機器が冷えると運転ランプは点灯に変わります。）
- 「タイマー合せ」表示中はタイマー時刻を設定することができます。



タイマー合せ

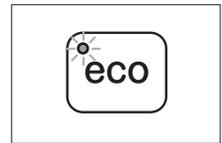
タイマー2 タイマー時刻になると点火し、点火後約1時間で自動消火します。

- タイマー2ボタンを押すと、タイマー2ランプが点灯します。
- 10秒間液晶表示部に「タイマー合せ」とタイマー時刻を表示し、その後、バックライト（照明）が消灯します。（燃烧中にセットする場合運転ランプが点滅し消火します。その後バックライトが消灯し、ストーブが冷えると運転ランプは点灯に変わります。）
- 「タイマー合せ」表示中はタイマー時刻を設定することができます。
- タイマー2は点火後約1時間で自動的に消火します。点火後タイマー2ランプの点滅と共に消火までの時間（分）を1分ごとに現在室温表示部に点滅表示します。自動的に消火すると、運転ランプとタイマー2ランプの点滅と共に、液晶表示部に「00」が点滅表示します。（機器が冷えると運転ランプは点灯に変わります。）
- 点火後、タイマー2ボタンを押すと、タイマー2ランプが点滅から消灯に変わり、自動消火せず運転を継続します。
- タイマー2は設定により点火後、運転を継続できるようにできます。（26ページ参照）



3 お好みの運転を予約する

- eco (エコ) 運転の予約ができます。
- ecoランプは現在室温と設定室温によって点灯または点滅します。



■タイマー運転の解除

1 運転スイッチを再度押し「切」にする

- 設定していたタイマーのタイマーランプと運転ランプが消灯します。



- タイマー時刻前に点火する場合は、再度設定しているタイマーボタンを押して、タイマーランプを消灯させてください。(設定室温または火力と現在室温が表示され、バックライトが点灯します。)
- タイマー2で自動消火し、再度運転する場合は、運転スイッチを一度「切」にして再度「入」にするかタイマー2ボタンを押してください。



- 運転スイッチが「入」になっていないとタイマー運転を受け付けません。
- 時刻合せをしていないとタイマー運転はできません。先に時刻合せを行ってください。(23ページ参照)
- お好みの運転の設定はタイマーボタンを押す前にもできます。
- タイマー運転をする場合は、周囲に可燃物があったり、その他危険な状態のないことを確認してください。
- お出かけのときはタイマー運転をししないでください。予想しない事故が発生するおそれがあります。
- 停電したときや運転中にチェックモードが表示されたときは、タイマー運転は解除されます。

タイマー2運転の自動消火時間設定について

タイマー2運転の自動消火機能をOFFにすることができます。
以下の手順を参考にして設定してください。

- ①運転スイッチが「切」の状態ですべてのタイマーボタンを3秒以上押してください。
(バックライトが消灯しているときや省電力表示中でも操作できます。)
- ②「ピー」とブザー音が鳴り、液晶表示部の表示が「60 OF」へ切り替わります。
- ③室温/時刻調節ボタンの「▲」で消火機能を使用しない「--」、 「▼」で消火機能を使用する「60 OF」に切り替わります。
- ④設定したい内容を表示させて設定切換ボタンを押し、通常の表示に戻せば設定完了です。
※出荷時は「60 OF」に設定されています。
(注)何も操作しない状態が10秒間続くと、表示されている値で設定され通常の表示に戻ります。この場合は最初からやり直してください。



使用方法 つづき



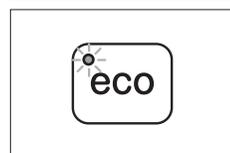
eco (エコ) 運転 (自動運転時のみ)

初期状態は設定室温『22』℃でeco (エコ) 運転が設定されています。

- 設定室温に合わせて自動的に燃焼・消火を繰り返し、現在室温を調節してお部屋の暖めすぎをおさえます。
- 設置条件(部屋の構造・設置場所・室外温度が比較的暖かい時期など)で最小燃焼になってもお部屋の温度が上がっていく場合にご使用ください。

1 運転スイッチを押し「入」にする

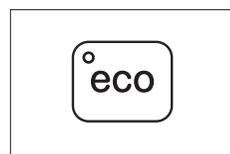
- 運転ランプが赤色、eco ランプが緑色に点灯し、液晶部に設定室温・現在室温が表示され点火します。
- eco (エコ) 運転は設定した状態で記憶されます。eco (エコ) 運転が解除されている場合は、eco ボタンを押すと eco ランプが点灯し、eco (エコ) 運転が設定されます。
- eco (エコ) 運転中、現在室温が設定室温と同じ、またはそれ以上のときは、eco ランプが点滅となり、この状態が1分間続くと消火します。消火後対流ファンが回っている間、運転ランプが点滅し、対流ファンが止まると運転ランプは点灯に変わります。
- 再点火は現在室温が設定室温より 2℃低くなったとき eco ランプが点滅から点灯に変わり点火します。
- 消火・点火条件を変更することができます。(28 ページ参照)



eco (エコ) 運転の解除

1 ecoボタンを押す

- ecoランプが消灯します。



- eco運転は、手動運転ではできません。

eco運転時の消火・点火温度条件の調節について

eco運転時の消火・点火の温度条件を調節することができます。

以下の手順を参考にして設定してください。

- ① 運転スイッチが「切」の状態でもecoボタンを3秒以上押してください。
(バックライトが消灯しているときや省電力表示中でも操作できます。)
- ② 「ピー」とブザー音が鳴り、液晶表示部の表示が「Ec*」(*は設定値)へ切り換ります。
- ③ 「Ec*」の状態から室温/時刻調節ボタンの「▲」「▼」を押すごとに、
「0」⇄「1」⇄「2」と切り換ります。
- ④ 設定したい内容を表示させて設定切換ボタンを押し、通常の表示に戻せば設定完了です。

※出荷時は「0」に設定されています。

(注)何も操作しない状態が10秒間続くと、表示されている値で設定され、「ピッ」とブザー音が鳴り通常の表示に戻ります。この場合は、最初からやり直してください。



表示例

	「0」 (※)	「1」	「2」
消火温度 (設定温度に対して)	±0℃	+1℃	+2℃
点火温度 (設定温度に対して)	-2℃	-1℃	±0℃

※出荷時設定

バックライト（照明）の消灯設定について

運転スイッチを「入」にしている間、バックライト(照明)を消灯させることができます。

以下の手順を参考にして設定してください。

- ① 運転スイッチが「切」の状態でも設定切換ボタンと室温/時刻調節ボタンの「▼」を10秒以上同時に押してください。
(バックライトが消灯しているときや省電力表示中でも操作できます。)
- ② 「ピー」とブザー音が鳴り、液晶表示部の表示が「LE d」「on」へ切り換ります。
(「LE d」「on」は2秒おきに交互に表示されます。)
- ③ 室温/時刻調節ボタンの「▲」で「on」、「▼」で「o FF」に切り換ります。
- ④ 設定したい内容を表示させて設定切換ボタンを押し、通常の表示に戻せば設定完了です。

※出荷時は「LE d」「on」に設定されています。

(注)何も操作しない状態が10秒間続くと、表示されている値で設定され、「ピッ」とブザー音が鳴り通常の表示に戻ります。この場合は最初からやり直して下さい。



表示例

	「LE d on」 (※)	「LE d o FF」
運転スイッチ「入」 時のバックライト	「ON」	「OFF」

※出荷時設定

省電力表示機能の解除について

運転スイッチが「切」の場合でも時計表示をさせる(省電力表示機能の解除)ことができます。

以下の手順を参考にして設定してください。

- ① 運転スイッチが「切」の状態でもecoボタンと室温/時刻調節ボタンの「▼」を10秒以上同時に押してください。
(バックライトが消灯しているときや省電力表示中でも操作できます。)
- ② 「ピー」とブザー音が鳴り、液晶表示部の表示が「Lc d」「o FF」へ切り換ります。
(「Lc d」「o FF」は2秒おきに交互に表示されます。)
- ③ 室温/時刻調節ボタンの「▲」で「on」、「▼」で「o FF」に切り換ります。
- ④ 設定したい内容を表示させて設定切換ボタンを押し、通常の表示に戻せば設定完了です。

※出荷時は「Lc d」「o FF」に設定されています。

(注)何も操作しない状態が10秒間続くと、表示されている値で設定され、「ピッ」とブザー音が鳴り通常の表示に戻ります。この場合は最初からやり直して下さい。省電力表示機能を解除すると、タイマー待機時はバックライトが点灯したままとなります。消灯させたい場合は、省電力表示機能は解除しないでください。



表示例

	「Lc d on」	「Lc d o FF」 (※)
運転スイッチ「切」 時の時計表示	「ON」	「OFF」
運転スイッチ「切」 時のバックライト	「OFF」	「OFF」
タイマー待機時の バックライト	「ON」	「OFF」

※出荷時設定

使用方法 つづき



1,1

チャイルドロックについて

小さなお子様などによるいたずら操作防止や、誤って運転スイッチを押しても点火しないように操作部をロックすることができます。

■チャイルドロック

- 小さなお子様などによるいたずら操作を防止します。

1 室温/時刻調節ボタンの「▲」「▼」を3秒以上同時に押す

- 「ピー」とブザー音が鳴り、「🔒」マークが表示します。
- 運転スイッチを「切」にすること以外の操作ができません。



■チャイルドロックの解除

1 室温/時刻調節ボタンの「▲」「▼」を再度3秒以上同時に押す

- 受付音が「ピー」と鳴り、「🔒」マークが消灯します。



- 受付音を消音設定している場合は、受付音は鳴りません。(15 ページ参照)
- 停電したときは、チャイルドロックが解除されます。
- チャイルドロックを設定中でも、いずれかのボタンを押すとバックライトは点灯します。

安全装置

●異常が生じたとき、自動的に消火する装置です。

安全装置が作動した場合、運転スイッチを「切」にし、機器が冷えてから下記の処置をしてください。

安全装置のなまえ ●作動の原因	チェックモード	処置の方法
転倒時ガス遮断装置 ●転倒したとき ●強い振動や衝撃を受けたとき ●地震(震度5程度以上)のとき	E- 22	機器の周囲や排気管の外れやゆるみ、ガス漏れなどの異常がないことを確認し再点火操作してください。
停電安全装置 ●停電したとき ●電源プラグが抜けたとき	E- 00	通電後、再点火操作してください。
過熱防止装置 ●エアーフィルタにほこりがたまったり、エアーフィルタがカーテン等でおおわれたとき ●温風吹き出し口の前方が障害物でおおわれているとき	E- 14 E- 15	エアーフィルタの掃除や障害物などの原因を取り除いてから再点火操作してください。
立消え安全装置 ●不着火 点火しなかったとき ●途中消火 運転中消火したとき	E- 11 E- 12	ガス栓が開き足りないか、閉まっているか確認し、再点火操作してください。再びチェックモードが表示される場合には、お買い求めの販売店にご連絡ください。ガスメーターでガスが止まる場合があります。その場合は最寄りのガス事業者(供給業者)にご連絡ください。
給排気トップ閉そく検知機能 ●給排気筒トップの先端がふさがれているとき ●強い風が吹いたとき	E- 21	給排気筒トップの先端が、雪やビニール袋などでふさがれていないか点検後、再点火操作してください。
排気管抜け検知装置 ●排気管接続部が外れたとき ●排気管抜け検知リード線が外れたり断線したとき	E- 90	修理が必要です。お買い求めの販売店にご連絡ください。
過電流保護装置 ●過電流が流れ、ヒューズが切れたとき	表示なし	停止中であれば、省電力表示になっていないか確認してください。(19ページ参照)それでも表示されない場合は修理が必要です。お買い求めの販売店にご連絡ください。

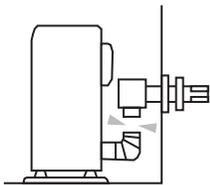
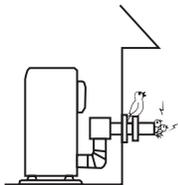
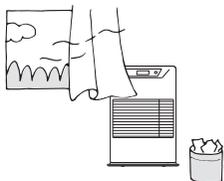
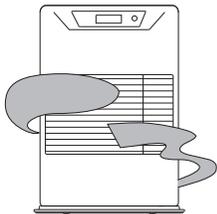
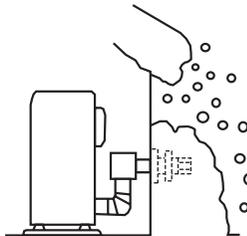
日常の点検・手入れ

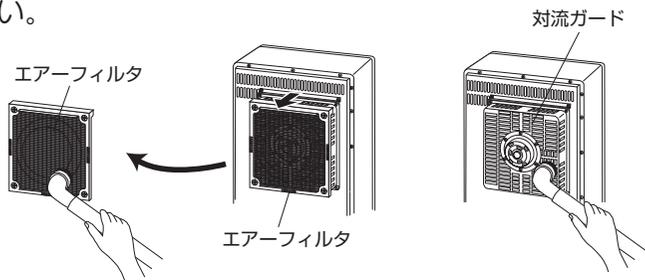
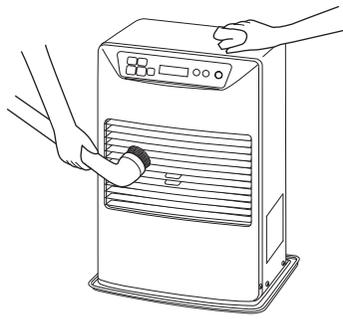
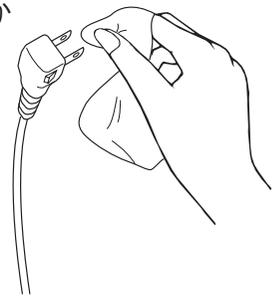
点検・手入れのときの注意

●安全にお使いいただけるよう点検とお手入れは定期的に行ってください。

必ず運転スイッチを「切」にして、機器が冷えてから下記の処置をしてください。

点検・手入れの必要項目、時期、方法

	点検・手入れ項目	方	法
シーズン はじめ	給気ホース(給気管) 排気管	<ul style="list-style-type: none"> ●給気ホース(給気管)・排気管の接続部が外れていないか点検します。 ●給気ホースが排気管にあたっていないか点検します。 	
	給排気筒トップ	<ul style="list-style-type: none"> ●室外の給排気筒トップが鳥の巣やビニール袋などでふさがれていないか点検します。 	
使用ごと	周囲の可燃物・ 引火物	<ul style="list-style-type: none"> ●機器の上や周囲・給排気筒トップの周囲に可燃物、引火物がないか点検します。 	
	燃焼排ガスの漏れ	<ul style="list-style-type: none"> ●燃焼排ガスのおいや、目がチカチカしないか点検します。燃焼排ガスが漏れていると危険です。 	
	給排気筒トップ	<ul style="list-style-type: none"> ●給排気筒トップが雪や氷でふさがれていないか点検します。ふさがれていると異常燃焼することがあり危険です。 	

時期	点検・手入れ項目	方 法
週に1回以上	エアークフィルタ	<ul style="list-style-type: none"> ●機器背面についているエアークフィルタと対流ガードに付いたほこりを掃除機などで取り除きます。 ●掃除が終わりましたら、エアークフィルタを取り付けてください。 
	機器外観 安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。	<ul style="list-style-type: none"> ●機器の表面のほこりや汚れは、乾いたやわらかい布などできれいにふきとります。 ●汚れがひどいときは布などに台所用中性洗剤をつけてふきとります。 ●シンナー・アルコール・ベンジンなどは使用しないでください。 ●温風吹出し口のほこりは掃除機などで取り除きます。 
1シーズンに2〜3回	電源プラグ	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグにほこりがついていないか点検します。 

定期点検（有料）

- この機器は使用される場所や条件、または使用時間により消耗・劣化する部品がありますので専門のサービス員による定期点検をおすすめします。

定期点検（有料）の実施時期

2シーズン毎に1回程度定期点検をおすすめします。

ただし、湿度の高いところ、ほこりの多いところ、温泉地域などでご使用の場合は、1シーズン毎の定期点検をおすすめします。お買い求めになった販売店にご相談ください。

定期点検の内容

専門のサービス員が機器の性能・機能について正常であるかを診断し、必要に応じて修理作業・簡単な清掃を行います。

安全にお使いいただくために製品の状態を点検・診断するものです。

お申し込み先

お客様→お買い求めになった販売店

定期点検の費用

定期点検の費用はお客様のご負担になります。

定期点検の結果、部品交換および修理等が必要な場合は、処置内容および費用についてお客様にご相談のうえ、実施するか否かを決定します。

定期点検の内容

定期点検の内容	項	目
設置状態、給排気まわりの点検・確認	●製品の設置・使用状態 ●給排気筒トップの詰まり	●給排気筒接続と詰まり
安全装置および運転動作の点検・確認	●安全装置の働き ●操作部品や動く部品の働き	●運転動作の点検
環境・使用時間により劣化しやすい部品の点検・交換	●ガス通路接続用Oリングの点検 ●給排気部品・排気管接続用Oリングなどの点検 ●バーナの点検 ●各種電装部品の点検	●各種パッキンの点検
製品の清掃・整備	●本体内	●エアーフィルタ・対流ファン

故障・異常の見分け方と処置方法

- 故障かな？と思ってもよく調べてみると故障でない場合があります。
次のような場合は故障ではありません。

	現 象	方 法
点 火 時 ・ 消 火 時	初めて使用するときやシーズン始めに、煙やにおいがでる	ほこりやバッキンが焼けるためです。 異常ではありません。
	点火したときや、消火した後に「コツンコツン」と音がする	ガス通路を開閉するための電磁弁(電気で開閉するガス弁)が作動するときの音です。 異常ではありません。
	点火したとき、「ポン」という音がする	点火音で異常ではありません。
	「ピチピチ」や「カンカン」という音がする	本体内部の加熱・冷却時に出る金属の膨張・収縮音です。 異常ではありません。
燃 焼 時	運転してもすぐに温風が出てこない	冷風を出さないようにしてあり、機器内が暖まると、自動的に温風が出ます。
	運転中に「シャー」という音がする	ガスの通過音がする場合があります。
	停止してもすぐに温風が止まらない	対流ファンが機器内部を冷やしてから自動的に止まります。
	間違って電源プラグを抜いてしまったために、すぐに差し込んで運転操作したが点火しない	対流ファンが機器内部を冷やしてから止まりません。数分待ってから、再度運転操作をしてください。

故障・異常の見分け方と処置方法 つづき

●異常が生じた場合は下表を参照して、お客様ご自身で処置してください。

原因	現象	運転ランプが点灯しない	点火しない	炎が立ち上がる	デジタル表示部に表示されたチェックモード					処置	参照ページ	
					表示なし	E-00	E-11 E-12	E-22	E-14 E-15			E-21
	電源プラグがコンセントから抜けている	●			●						電源プラグをコンセントに確実に差し込む	17
	省電力表示になっている				●						いずれかのボタンを押す	19 30
	ガス栓が閉じている		●				●				ガス栓を開く	18 30
	ガス栓が開ききっていない		●				●				ガス栓を開く	18 30
	停電があった					●					運転スイッチを押しなおす	30
	エアフィルタにほこりがたまっている								●		掃除する	30 32
	エアフィルタがカーテン等でふさがっている								●		カーテン等を取り除く	30 31
	温風吹出し口前方が障害物でおおわれている								●		障害物を取り除く	30 31
	給排気筒トップの先端がふさがれている			●			●			●	給排気筒トップ先端のしゃ閉物を取り除く	30 31
	地震や強い衝撃があった						●				機器周囲、給排気筒を点検する	30 31
	強い風が吹いた									●	給排気筒を点検する	30 31

以上の方法で点検し、処置してもなおらないときは、使用を中止しお買い求めの販売店にご相談ください。

修理をお申しつけのときには故障内容をできるだけ詳しく、また表示部に表示されているチェックモードをご連絡ください。



■チェックモードに下記のような表示が出たときは、お買い求めの販売店へご連絡ください。

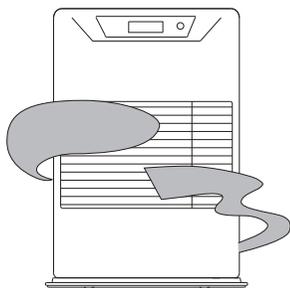
E- 16 E- 31 E- 32 E- 44 E- 61 E- 70
E- 72 E- 77 E- 90 E r r

このような現象のときは使用を中止し、販売店にご連絡ください

●使用される場所や条件または長時間の使用により、下記のような現象が見られる場合には使用を中止して、必ずお買い求めの販売店に修理依頼してください。

燃焼排ガスのおいがしたり、目がチカチカする

- 燃焼排ガスが漏れているおそれがあります。燃焼排ガスが室内に漏れていると、危険です。



点火・燃焼・消火するときに「ボン」という大きな音がした

- 機器が損傷したり、パッキンが飛散しているおそれがあります。

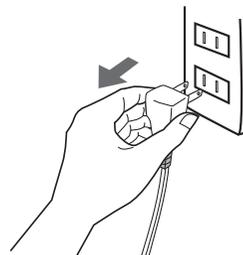


保管(長期使用しない場合)

●長期間使用しないとき(シーズン終了時)は、次の要領でお手入れしてください。

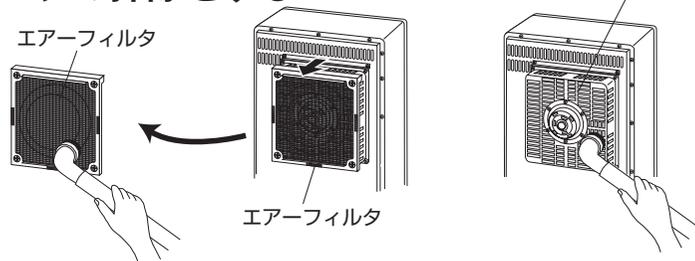
1 電源プラグをコンセントから抜く

- ぬれた手で触らないでください。
感電のおそれがあります。



2 機器の外観・エアフィルタの掃除をする

(32ページ参照)



3 ガス栓を閉じる

ガス栓を閉じる



4 機器は設置したまま保管する

- やむなく、取り外して収納する場合や、次シーズンに再設置する場合は、お買い求めの販売店へ作業を依頼してください。(有料)



●機器本体は、お客様ご自身で移動したり、設置したりしないでください。

仕様

製品名		FF-3022G	FF-3022GP
形式の呼び		FF-3019G-1	FF-3019G
種類	燃焼方式	強制燃焼式	
	給排気方式	密閉式	
	放熱方式	強制対流式	
点火方式		連続放電点火	
暖房出力		13A・LPガス用	3.00kW (2,580kcal/h)
		12A用	2.79kW (2,400kcal/h)
暖房の めやす	木造(戸建)	13A・LPガス用	温暖地: 13.0 m ³ (8畳) 寒冷地: 13.0 m ³ (8畳)
		12A用	温暖地: 11.5 m ³ (7畳) 寒冷地: 13.0 m ³ (8畳)
	コンクリート(集合)	13A・LPガス用	温暖地: 18.0 m ³ (11畳) 寒冷地: 21.5 m ³ (13畳)
		12A用	温暖地: 16.5 m ³ (10畳) 寒冷地: 20.0 m ³ (12畳)
外形寸法		高さ603mm×幅440mm×奥行303mm	
質量		18kg	
電源電圧および周波数		AC100V 50/60Hz	
電源コード長さ		約2m	
消費電力 (50/60Hz)	燃焼時	最大 39W/37W 最小 30W/28W	
	待機時	0.6W/0.6W	
給排気筒の呼び径		D40	
給排気筒径		60mm	
給排気筒の壁貫通部の口径		80~85mm	
延長の最大長さ		4m3曲がり	
排気温度		260℃以下	
安全装置		立消え安全装置、停電安全装置、転倒時ガス遮断装置	
		排気管抜け検知装置、給排気トップ閉そく検知機能	
		過熱防止装置(サーモスタット、サーミスタ)	
		過電流保護装置(電流ヒューズ)	
ガス接続		R1/2(TU1/2接続可)	
附属品		ワイヤーバンド(1)、ストッパーリング(1)、断熱カバー(1)	
		壁固定金具A(2)、壁固定金具B(2)、ねじ4×25(2)、ねじ4×10(2)	
		取扱説明書(1)、設置工事説明書(1)	

製品名	形式の呼び	使用ガス 使用ガスグループ	ガス消費量
FF-3022G	FF-3019G-1	12A・13A	13A 3.63kW (3,120kcal/h)
			12A 3.38kW (2,910kcal/h)
FF-3022GP	FF-3019G	LPガス	3.63kW (3,120kcal/h)

アフターサービス

■保証書について

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

■修理を依頼するときについて

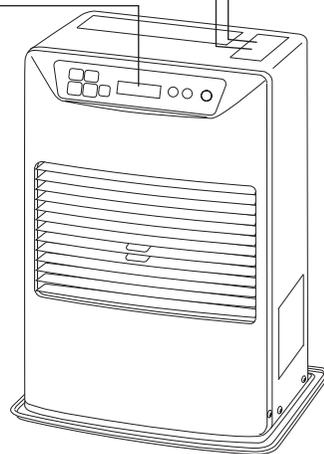
「故障・異常の見分け方と処置方法」(34～36ページ参照)に従って点検してください。処置してもなおらないときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店へご連絡ください。

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理いたします。

ご連絡していただきたいこと	
ご住所	
お名前	
電話番号	
製品名	FF-3022G FF-3022GP
形式の呼び	FF-3019G-1 FF-3019G
お買い上げ日	年 月 日
故障または異常の内容	できるだけ詳しく(表示部のチェックモード数字など)お知らせください。
訪問ご希望日	

チェックモード表示

製品名
形式の呼び



- 保証期間が過ぎているときは、販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、希望により有料修理いたします。
- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
- ご不明な点や修理に関するご相談は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

■転居・移設について

- ガスや電源の種類は地域によって異なり、そのままご使用できない場合があります。転居先のガスや電源をご確認のうえ、最寄りのガス事業者にご相談ください。
- 機器の設置場所を変更されるときは、お買い求めの販売店にご依頼ください。

■補修用性能部品の保有期間について

- この機器の補修用性能部品の保有期間は製造打切り後10年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

据付け

■設置工事は販売店に依頼する

設置工事や移設工事は販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身では行わないでください。

■据付場所の選定および標準据付け例

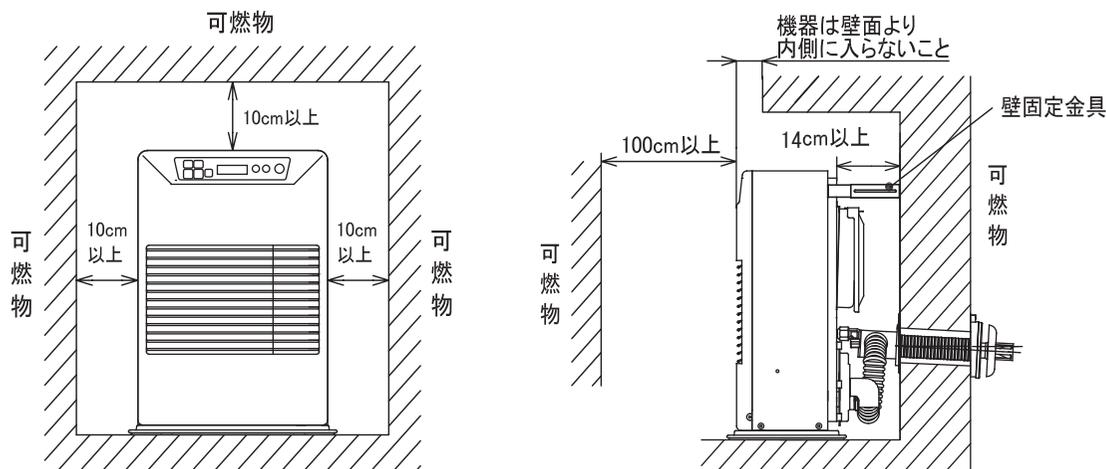
据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。設置工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みになり販売店または据付業者とよくご相談してください。また、「標準据付け例」については、下図を参照してください。

【機器から周囲の可燃物までの離隔距離】

- 防火上、必要な可燃物との離隔距離は

上方：4.5cm以上 側方：4.5cm以上 前方：60cm以上

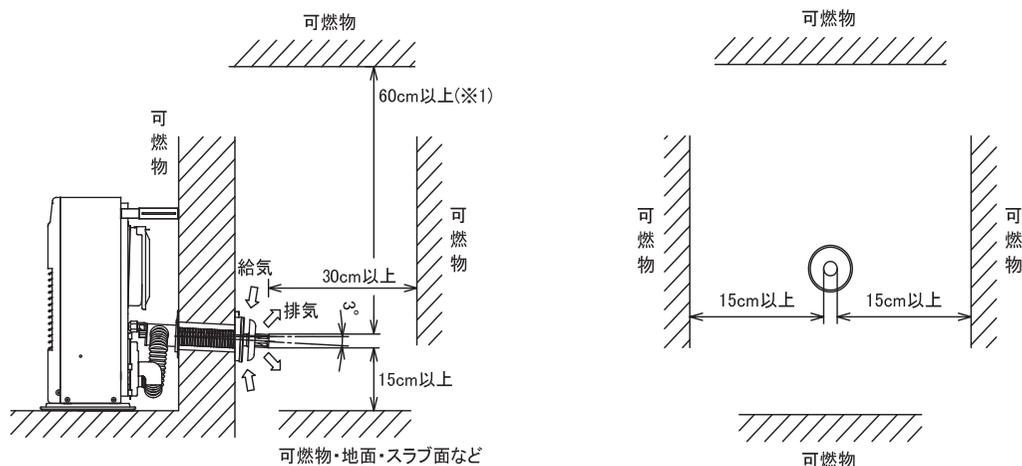
となっておりますが、保守管理および性能上、下図の離隔距離を確保してください。



- 機器が囲われる場所に設置する場合の内部やその周辺は、できるだけ不燃材料または準不燃材料、あるいは防熱板で仕上げを行ってください。また、機器は必ず壁面より手前に出してください。

据付け つづき

【給排気筒トップから周囲の可燃物までの離隔距離】



注(※1)

60cm以上の寸法は、不燃材を使用する場合は30cm以上とする。

- 給排気筒トップは上方および両側に気流を阻止する障害がないこと。
- 図では可燃物までの離隔距離を示していますが、性能維持のため、不燃物などの場合も上図離隔距離としてください。
(※1部は除く)
- 図の寸法は防火上必要な寸法であり、燃焼排ガスが滞留しない寸法ではありません。

■給排気筒を延長する場合の注意

給排気筒を延長する場合は、4m3曲がり以下で取り付けられる場所を選定してください。高さ方向の延長は2mまでです。必ずお守りください。

■積雪地区における注意

積雪の多い地方では、積雪時に給排気筒が雪でふさがれないような取り付け場所を設定してください。また、風がよどむような場所では、燃焼排ガスを再度吸い込んで不完全燃焼を起こすことがあります。

■据付け後の確認

据付けが終わりましたら、もう一度、設置工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みになり、設置工事説明書に記載されているとおり据え付けられているかどうかを確認してください。

- 給排気筒を延長して設置している場合、延長長さは4m以下、曲がりは3箇所以下としてください。
- 室温サーミスタ（ルームセンサー）は機器から外し、部屋の温度を代表できる壁面にピンなどで固定されているかを確認してください。

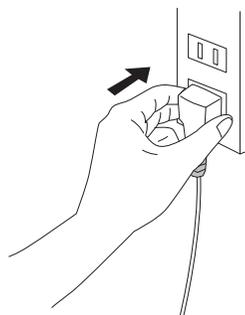
試運転

試運転は、販売店または専門業者と一緒に必ず行ってください。

■ 運転準備

1 電源コードおよび電源プラグの確認

- 電源プラグをコンセントに差し込み接続してください。



2 ガス栓を全開にする

- 機器と接続されているガス栓を全開にしてください。

ガス栓を開く



試運転 つづき

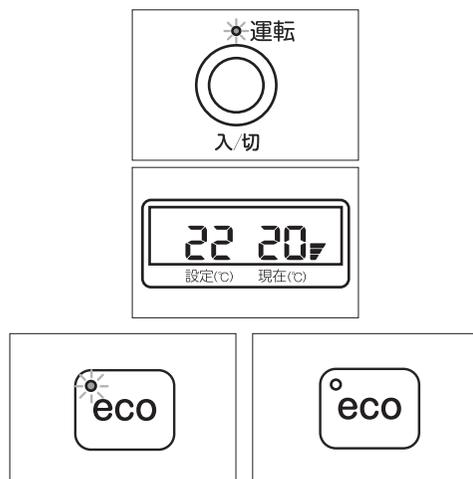


1,1

運転

1 運転スイッチを押し「入」にする

- 運転ランプが赤色に点灯し、液晶表示部に設定室温・現在室温が表示され、約20秒後にスパーク音がして点火します。
- 点火してから約40秒後に温風が出ます。
- 初期状態では設定室温「22」℃で、eco (エコ) 運転が設定されています。eco (エコ) 運転を使用しない場合、ecoボタンを押してeco (エコ) 運転を解除してください。



消火

1 運転スイッチを再度押し「切」にする

- 運転ランプが消灯します。
- 対流ファンは機器が冷えるまでの数分間回り続けます。



正常燃焼のめやす

- 正常燃焼のめやすとして36ページのような現象がないことを確認します



- 機器より煙やにおいが出ることがありますが、ほこりやパッキン類が焼けるためで異常ではありません。最大燃焼で数十分運転すると消えますので、部屋の換気をしながら試運転してください。

保証書(販売店様控)

型名	FF-3022G/FF-3022GP			
★製造番号	No.	保証期間	1 年	
★お買い上げ日	年 月 日	★販売店	住所・店名	
★お客様	お名前		様	電話 ()
	ご住所			
	電話 ()			

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

-販売店様へお願い-

- (1)保証書(販売店様控)及び次のページの保証書(お客様控)の★印欄に必ず必要事項をご記入の上、保証書(販売店様控)は切り取り線より切り取って保管し、次のページの保証書(お客様控)は本取扱説明書とともにお客様にお渡しください。
※カーボン紙を差し込んで次のページに複写してください。
- (2)保証書(販売店様控)に記載したお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のため以外には使用しないでください。

修理メモ

--

保証書(お客様控)

本書は当製品に故障が発生した場合、お買い上げ日より表記期間中、本書記載内容に従って無料修理をお約束するものです。修理を依頼される場合は、お買い求めの販売店に必ず本書をご提示ください。

型名	FF-3022G/FF-3022GP			
★製造番号	No.	保証期間	1年	
★お買い上げ日	年 月 日	★販売店	住所・店名 電話 ()	
★お客様	お名前			様
	ご住所			
	電話 ()			

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、当製品を無料で修理致します。お買い求めの販売店にご相談ください。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い求めの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い求めの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買い求めの販売店に修理がご依頼できない場合には、裏表紙記載のフリーダイヤルへご相談ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書の提示がない場合、または必要事項の記載がない場合、字句を書き換えられた場合は有料修理になります。

●次の場合は保証期間内でも有料修理になります。

- (1)住宅用途以外で使用した場合の不具合
- (2)使用者が適切な使用、維持管理等を行わなかったことに起因する不具合
- (3)一般家庭用以外に使用したことに起因する不具合
- (4)専門業者以外による修理、改造等に起因する不具合
- (5)弊社が定める工事説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解等に起因する不具合
- (6)建築躯体の変形等、住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化、または使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
- (7)海岸付近、温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
- (8)動物や昆虫等の行為、及び植物の侵入等に起因する不具合
- (9)火災・爆発・凍結等の事故、台風・落雷・地震・噴火・洪水・津波等の天変地異、または戦争・暴動等の破壊行為による不具合
- (10)消耗部品の消耗に起因する不具合
- (11)公害による不具合
- (12)電気・燃料等の供給トラブル等に起因する不具合
- (13)指定規格以外の電気・燃料を使用したことに起因する不具合

修理メモ

●お客様へ

- この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い求めの販売店、または裏表紙記載のフリーダイヤルにお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

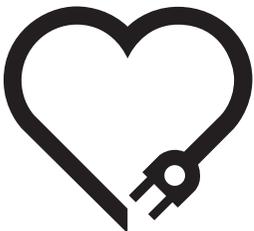
お買い上げ日	年 月 日
販売店名	
	電話番号

●記入しておくで修理などの依頼のときに便利です。

<p>一般のお客様から のお問い合わせは、 フリーダイヤルへ</p>	<p> 0120-925-339 携帯電話からは 0570-666-339 (通話料金がかかります)</p>	<p>お客様から取得いたしました個人情報 は、お客様へのお問い合わせ対応を目的 として利用し、適切に管理します。 修理業務等を委託する場合や正当な理由 がある場合を除き、第三者に開示・ 提供いたしません。</p>
--	--	--

※電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

<p>修理に関する お問い合わせ</p>	<p>24時間365日受付</p>	<p>商品に関する お問い合わせ</p>	<p>平日 8:00~18:30 土日祝 8:00~17:00</p>
--------------------------	--------------------------	--------------------------	---

<p>愛情点検</p> 	<p>長年ご使用のガス暖房機の点検を！</p>	
	<table border="1"> <tr> <td> <p>こんな症状は ありませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ●油漏れがある。 ●煙が出たり、強い臭いがする。 ●運転中にこげくさい臭いがする。 ●異常な音や振動がする。 ●その他の異常や故障がある。 </td> <td> <p>ご使用中止</p> <p>故障や事故防止のため、コンセント から電源プラグを抜いて、必ず販売 店に点検・修理を依頼してください。</p> </td> </tr> </table>	<p>こんな症状は ありませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ●油漏れがある。 ●煙が出たり、強い臭いがする。 ●運転中にこげくさい臭いがする。 ●異常な音や振動がする。 ●その他の異常や故障がある。
<p>こんな症状は ありませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ●油漏れがある。 ●煙が出たり、強い臭いがする。 ●運転中にこげくさい臭いがする。 ●異常な音や振動がする。 ●その他の異常や故障がある。 	<p>ご使用中止</p> <p>故障や事故防止のため、コンセント から電源プラグを抜いて、必ず販売 店に点検・修理を依頼してください。</p>	

住宅設備機器総合メーカー
株式会社 長府製作所



本社 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1